

# 認知症と共に生きる川柳 優秀賞 20作品



この街で 生きてくあなたと 手をつなぐ  
P.N. 万治子

勇気を出して、自ら声をかけること  
で、よりよい街にする。

老いは誰にも来るけれど、笑顔があ  
るような生活をしていただきたい。  
人に優しく、自分にも優しくありた  
いと思っている。

勇気出し お困りですか 声かける

高橋 七海

だいじょうぶ ここはそんな まちじゃけえ  
P.N. ごんたくん

呉弁  
Good!

私の住んでいるまちは、そんなと  
ころです。

まちじゅうで みまもられている あんしんかん  
P.N. モーニンさとし

おおらかな 町が見守る 認知症

P.N. むかしの美人

軽度の認知症だった夫が旅立ちまし  
た。周りの皆様に親切にしてくださ  
り感謝しています。

ある日突然分からなくなっても、安  
心できる呉の町

出かけても オレンジリングに 見守られ  
P.N. 猫バーバ

迷っても 我がことつながる 呉のまち  
P.N. おとなりさん

徘徊する人にもきっと何か思いがあるのではないかと思います。「出ないで」「じっとしていて」と言わず、一緒に歩いたり散歩に出かけ、いろいろな話や思いが聞けたらと思い、この句をお考えました

地域の中に散歩に行くと時々帰り道がわからなくなる方がおられ、地域近所市全体で協力して対応する様子を思い浮かべて作りました。



徘徊も 一緒に歩けば いい時間

片平 もも香

認知症 知れば始まる 認知笑  
P.N. 七転び八起き

自分や家族が認知症かもしれないと不安に思ったら、早めに医療機関などに相談すれば早期発見、治療につながる。また、周囲の理解も得ながら元気で楽しく認知症と共生しやすくなる。悩みを抱え込まず、まずは相談を。

そうじゃねと よりそう心の くれのまち  
P.N. ノンアルで酔うジイジ

目の前で起こっていることは忘れるけど、優しくしてもらったこと、笑顔は感覚の中に残っているので。

年を重ねるとご近所のありがたさが身に沁みます。みなさんに温かく見守ってもらい、うれしいです。呉のまちが大好きです。

忘れても 覚えているよ あたたかさ

宮岡 尚子

老いければ みんなちがって みとめあい  
P.N. つきみ草

行方が分からなくなった、との放送が流れ心配していたが、その後無事に発見されたら放送がありほっとした。その時の気持ちを詠みました。

年老えばそれぞれの違いをわかり合う寛容さ

無事保護と 市内放送 安堵する

P.N. なべちゃん

寄り添って 見守りながら すごすまち

宮岡 恵子

意気揚々 買い物帰ると 杖届き

P.N. なのはな



気分よく買い物へ行き、買い物で頭がいっぱいで手のことを忘れていた。

つなぐ手の 波紋広がる 港まち

児玉 泰子

認知症になっても安心して暮らせるサポートの手が差し伸べられ、繋がった手と手の輪が波紋のように広がっていく町であってほしい。

発想  
Good!

放送に 耳そば立てて 安堵する

西本 勝子

認知症の人でも気軽に外に出掛けられる地域づくりが必要だと思います。

実家で一人暮らしになった母のことを思い、書きました。

歩こうよ みんなのところが 杖代わり

P.N. おれんじ

大丈夫 たよってほしい わたしたち

住田 柚月

もの忘れがあっても、その人らしく、地域に見守られながら暮らせるようになればと願っています。

認知症の人でも安心できるように、私たちが支えていきたいと思ったから。

忘れても あなたのままで 暮らせるよ

P.N. 新米の70才

呉市で初めての企画でしたが、  
なんと609句ものご応募をいただきました。  
たくさんのご応募、  
ありがとうございました。

素敵な川柳ばかりだったので、選出にはかなり苦慮しました。幅広い年齢層の方々からご応募いただき、小学生から80歳代までのいろいろなカラーのある川柳を拝見させていただきました。

今後も認知症の方を地域で支える活動にご協力をよろしくお願いいたします。



呉市認知症地域支援推進員  
呉市認知症施策推進事業検討委員会